

平成22年度 日南振徳商業高等学校 学校評価

<p><b>教育目標</b>                  教育法規ならびに県教育基本方針にもとづき、確かな力を基盤とした感動と感性の教育を推進することにより、宮崎の教育創造プランの具現化を図る。そのことから生涯学習の基礎を養い、勤労と責任を重んずる健全な産業人として、郷土ならびに国家社会の発展に貢献しうる有為な人材の育成に努める。                  このため、各教科および特別活動等の教育活動を通じ、自己教育力を育成し、健康増進と生命尊重の精神を養うことにより、「知・徳・体」の調和のとれた人間の育成を図り、個性豊かな人間性の育成に努める。</p>	<p><b>〔学校関係者評価のポイント〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価の項目や指標は適切に設定されているか。</li> <li>自己評価の結果は、指標等をもとにした妥当なものであるか。</li> <li>自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は適切であるか。</li> </ul>
<p>■ <b>経営方針ビジョン</b> キャッチフレーズ 『未来に残そう 伝え築いた 振徳商業』 『目指せ 三種目 日本一！』  <b>校訓</b>「健康 誠実 友情 情熱」 <b>振徳商スローガン</b>「挨拶の振徳 風紀の振徳 美化の振徳」                  ○目指す学校像＝「生徒一人ひとりを鍛え、育てる学校」 目指す教師像＝「生徒に厳しく、寄り添える教師」 目指す生徒像＝「自分の天分・個性を振りおこし、勉学にスポーツに精励努力する人間」                  ○『振徳商の教育』の重点化 → 「生きる力」を育むことを基本として、①「頭」を鍛え、伸ばす ②「心」を鍛え、育む ③「体」を鍛え、伸ばす 教育を行う。</p>	
<p><b>本年度の重点目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「頭」を鍛え、伸ばす（学力の向上と進路の実現）</li> <li>②「心」を鍛え、育む（心の教育の推進と充実）</li> <li>③「体」を鍛え、伸ばす（体の育成と部活動の活性化）</li> <li>④『振徳商の教育』を達成するための制度の充実</li> </ol>	

重点目標	評価項目	具体的方策 又は 具体的指標	自己 評価	成 果 及 び 改 善 策	学 校 関 係 者 評 価	
					評 価 ・ 具 体 的 意 見	
①「頭」 を鍛え、 伸ばす （学 力 の 向 上 と 進 路 の 実 現）	授 業 研 修	授業研究に励み、工夫改善に努め、確かな学力を身につけさせる。 →「宅習の活用」	B	教員同士で授業を参観しあう中で、各自での授業の見直し改善が図られた。テーマ「自宅学習とリンクした授業展開」については、今回のみの研修とするのではなく、今後も引き続き研究を行うよい切っ掛けとなった。 また、昨年度までの朝自習を職員によるチェック機能を加えた宅習提出に変え、宅習促進に加え基礎基本へのテコ入れを行った。少なからず進路試験等に役立つことができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方の授業の見直し改善や宅習促進の取り組みは、努力された成果だと見ていて良くわかります。</li> <li>生徒の学力向上に向けた諸先生方の努力は素晴らしいことだと思います。</li> <li>宅習提出は生徒の学習に対する積極性を育てて行ったのではないかと思います。</li> <li>教員同士で授業参観しあうことで、教員の指導力向上になり、宅習とリンクした授業をした事で、生徒達の学習意欲も出て、学力向上に連なったのではないかと。</li> <li>先生方のやる気に大変感謝しています。生徒達も良い先生方に恵まれて良かったと思います。</li> </ul>
	専 門 教 育 の 充 実	専門教育を充実させ、ビジネス教育の推進を図る。	A	公開授業を通して専門教育の授業改善が図られた。またビジネス教育の一環としての挨拶、礼法の指導の徹底ができた。 資格取得を通して、高度なビジネス知識を身につけることができた。実践が伴ってない部分も見られたが外部講師を招いてビジネス教育を向上させる指導ができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶はともよく身につけているのが分かりました。ビジネス知識も身につけられ、良かったです。</li> <li>挨拶・礼法の指導の徹底がなされているのが、子供達を見ていて良くわかります。</li> <li>大変良い事だ。</li> <li>社会人としての礼儀作法は基本的なことであり、素晴らしいことだと思います。</li> </ul>
	資 格 取 得 の 推 進	資格取得を推進し、達成感・成就感を与えることで学ぶ意欲を喚起し、資格を活用した進路指導の充実を図る。→「三種目取得率 日本一」	A	全商主催検定の三種目以上一級取得率日本一を生徒職員一丸となって、例年以上の向上心を持って試験に臨む姿勢が見られた。生徒にとっては進路試験等での自信につながる事ができた。12月1日時点で三種目一級が112名中93名で83%の生徒が取得している。検定対策として課外も早くから準備計画できた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>三種目取得率日本一を生徒・職員一丸となって取り組まれた成果は、とても素晴らしいです。</li> <li>ぜひ三種目取得率日本一になってほしいと願っています。</li> <li>何か目標を持って学校全体が一つになるというのは、とても良いことだと思います。生徒達も良い経験となり、社会に出て役立つことです。</li> <li>生徒の努力はもとより、先生方の指導力の高さだと思う。</li> <li>全商検定に関しては全国でもトップレベルにあり、大変良かったと思う。</li> <li>生徒職員一丸となって日本一を目指しておられることは、素晴らしいことだと思います。また、課外等での先生方のサポートも大変なご苦労があるかと思いますが、必ず日本一が達成できると思います。</li> </ul>
	進 路 指 導 実 現	進路目標の早期設定を促し、希望進路の達成を図る。→「100%進路達成」	B	就職・公務員課外、面接指導、企業見学、小論文の指導を実施した。12月末現在、進路内定率は85%である。一般企業の内定状況は順調なので公務員、大学の最終的な内定を待っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般企業の内定状況が順調ということで、雇用状況の厳しい中、色々な指導が良くなされた成果だと思います。</li> <li>内定者が少しでも100%に近づける様に頑張ってください。</li> <li>雇用情勢が厳しい中で、約8割強の内定率は評価できるが、まだ2割弱の生徒の進路が未定というのは結果が問われます。</li> <li>社会状況の中で、就職が厳しい現状であるが、卒業まで先生方のしっかりしたサポートをお願いしたい。</li> <li>就職については、内定が早く出て先生方の努力が大変良かったと思う。</li> <li>昨年以上に厳しい進路事情であります。最後まであきらめず頑張ってください。</li> </ul>
②「心」 を鍛え、 育む（心 の 教 育 の 推 進 と 充 実）	キ ャ リ ア 教 育 の 推 進	職業観・勤労観を育む教育に取り組み、進路意識の高揚を図るために、キャリア教育の推進を図る。	A	生徒には外部講師による講演（各学期1回ずつ）を行い、進路意識の向上を図った。 また、職員にはハローワークの担当者を招いて研修会を行い、若者の雇用状況について学んだ。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学期に講演を設けられたり、雇用状況を学ぶ機会を持ったり、進路意識が高められたことと思います。</li> <li>職業観、勤労観を身につけさせ、進むべき道の見極め等の取り組みは評価できる。</li> <li>実社会の状況や実態を知る為にも、効果的な取り組みではないでしょうか。</li> </ul>
	学 校 ス ロ ー ガ ン の 践	「挨拶・風紀・美化の振徳」のスローガンの実践指導を通して、生徒の基本的な生活態度の確立を図り、自主性・自立性の育成に努める。	A	校則を守ることを特別に意識しないでも実行出来る生徒が育ってきた。在校生は1年時から特別指導を受けた生徒は一人もいない。また、今年度は軽微な服装違反で指導を受けた生徒が2名いるだけである。全生徒がスローガンの実践を意識した行動をしている。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>先輩方の姿を受け継いで、とても気持ちの良い生徒が育てられ、誇らしいことです。</li> <li>大変素晴らしいことだと思います。</li> <li>生徒の基本的な生活態度はよく学校の指導が徹底されているのが良くわかる。社会生活を営む上でも大事なことなので、引き続きの指導をお願いします。</li> <li>先生方の指導と生徒一人ひとりの振徳商の生徒である自覚ですね、「風紀の振徳」のスローガン通りだと思います。</li> <li>生徒指導については、目立った問題もなく良かったと思う。</li> <li>スローガンのとおり、よく指導がなされており、生徒も十分自覚している。</li> </ul>
	リ ー ダ ー 育 成	学校行事やホームルーム活動等を通してスクールリーダーの育成に努める。	B	職員が手をかけすぎて生徒の主体性・計画性が身に付かなかつたのではないかと反省している。意見は言えてもそれを実行に移すことが出来ず、自分の言動に責任が負えない生徒が目立つようになった。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下関係がなく、一学年だけでよく頑張られたと感じます。</li> <li>下級生がいけない中で、リーダー性を求めるのは大変だと思います。この環境で生徒達が頑張っていたと思います。</li> <li>生徒が一学年ということで、先生も生徒も勝手が違うことも多かったのではないのでしょうか。</li> <li>学校の中で、時々何名かで同じ行動をしている生徒が見られた。自分で考え、自分自身で行動できない生徒がいたようだ。</li> <li>残り時間は少ないですが、最後までしっかり指導願います。</li> </ul>

②「心」を鍛え、育む(心の教育の推進と充実)	豊かな心の育成	心の教育の充実。読書や体験活動を通して豊かな心の育成に努める。 →『未来に残そう 伝え築いた 振徳商業』	B	1学期はクラスごとに「結婚差別」についての学習を行い、2学期は全校一斉で「男女共同参画社会、セクハラ、デートDV」講話を実施。生徒の興味を持つ内容での実施ではあったが、2学期については内容が多すぎた。しかし、多様な社会差別を知る良い切っ掛けとなった。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>色々な取り組みをされ、それなりに生徒の心に何か感じられたものがあつたのではないだろうか。</li> <li>社会差別を考えるには、講話等は良いきっかけになったと思います。今後は「メンタルヘルス」についての講話を実施してはどうでしょうか。</li> <li>多様な社会差別を知ることは、これから社会へ出て行く生徒達にとって、おおいにプラスになったと思う。</li> <li>現在の社会問題の一つであり、よい取り組み内容ではなかったでしょうか。</li> </ul>
	人間関係作り	惻隠(思いやり)の心や情緒力を育成し、豊かな人間関係の醸成に努める。	A	振徳祭(文化の部・体育の部)等の学校行事を通して、クラスの団結・友人を思いやる気持ちが大変強くなった。また、以前のような小グループ内だけの友人関係もなくなり、健全な人間関係が出来ている。いじめの兆候も見られない。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>一学年で色々な学校行事を充実させられ、団結や思いやりの心が育ったことと思います。</li> <li>クラスの団結、友人を思いやる気持ち、私達もすごく伝わりました。</li> <li>振徳商業高校最後の学年(生徒)という自覚が生まれたのではないかと。このような関係を卒業後も持ち続けてほしい。</li> <li>大変良い事だ。</li> <li>リーダーとなった人が、他の生徒をよくまとめている。その他の生徒に関しても、リーダーに良くついていったと思う。</li> <li>すばらしい振徳祭でした。</li> <li>人間関係の形成からも、友達同士色々な人たちと連携がとれることは、すばらしいことだと思います。</li> </ul>
③「体」を鍛え、伸ばす(体の育成と部活動の活性化)	健康教育の推進	心身の健康教育や安全管理の充実を図る。	A	学校内の生活の様子や教育相談及びいじめアンケート等から判断して、心身に問題を抱えている生徒はいないと思われる。健康・生活指導に関する講話を含め、保護者・職員の生徒に対する指導が十分効果を上げている。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方の目や指導が行き届いた結果だと思います。</li> <li>すばらしいですね。</li> <li>生徒一人ひとりに、先生方の気配りが行き届いていたという結果でしょう。</li> <li>小さい嫌がらせは少々あったことは聞きましたが、いじめについてはつながっていなかった。全体的に見て、良好だったと思う。</li> <li>よく指導がなされていると思います。</li> </ul>
	生徒活動の活性化	部活動や学校行事等を通して自己の鍛錬と個性の伸長を図り、リーダーの育成に取り組むとともに豊かな人間関係を育む。	A	生徒会を中心に多くの行事でその目的を達成できている。しかしながら、自分の持つ能力を発揮しきれない生徒も多い。全ての部活動で、少人数ながらみなで協力し最後まで良く頑張り、思い出多い活動を締めくくってくれた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数の中で、生徒会を中心にみんなでよく頑張られました。</li> <li>少人数でよくやれたとほめてやりたい。</li> <li>3年生のみの生徒数で行事・部活動に取り組んだことは評価できる。</li> <li>最後まで頑張ってこれまでやってきた事は、社会に出てから頑張っていける源だと思う。</li> <li>生徒が少ない中、また、他校と合同チームでの出場、生徒達も理解し、すばらしい部活動だったと思う。これから先も、友人として付き合い合っていけるような関係ができたと思う。</li> <li>少人数ながら、みなさん最後までまとまって、良く頑張ったと高い評価ができると思います。</li> </ul>
④『振徳商の教育』を達成するための制度の充実	学校組織マネジメント	学校組織マネジメント(PDCA)の充実	A	毎学期に提出される各主任(部・学科・学年)のマネジメントサイクルをチェックしながら、各学期の方向性に活用している。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>各先生が研究され、良い方向性を見出されていると感じます。</li> <li>PDCAがよく発揮されていると思います。</li> </ul>
	協働性	教職員の協働性(同僚性)の確立	A	職員研修での協議については、少人数等に分かれてのバズセッションを取り入れたことにより、職員間での意見が出されるようになった。また、各係からの原案提出の際は、関係する部署等と事前に摺り合わせた事項が提出されるようになった。 学校運営や行事に対しても職種を越えて、全職員で取り組むようになった。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方の一生懸命さが、生徒たちも伝わっていたと思います。</li> <li>連携をスムーズに取ることは大事である。部署が異なるとセクト主義に陥りやすい。情報の共有化を図っていることは評価できる。</li> <li>学校全体のまとまりと活気が感じられ、大変良かったと思います。</li> <li>本校の先生方は、正に協働性が十分とれており、高く評価できます。</li> </ul>
	閉校準備	閉校に関連した記念行事、記念事業等の推進。「振徳商プロジェクト」、「閉校行事等実行委員会」の充実→『未来に残そう 伝え築いた 振徳商業』	A	閉校実行委員会を中心に準備を進めた。事前の会場レイアウト確認等を行うなど、できる限りの準備を行うことができた。テーマについては、各行事で関連キャッチフレーズを入れ生徒への意識付けを行うことができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>色々よく準備されています。</li> <li>多忙な業務の中で準備を進めてきたことは評価できる。閉校式という寂しい式ですが、最後まで取り組んで下さい。</li> <li>ここまで地域でも良校として名高い高校が閉校するのはとても残念でならないが、皆の思いは未来に残ると思う。</li> <li>閉校式もこの振徳商であれば、全員が協力しすばらしいものになると思う。</li> <li>有終の美が飾られるように、最後まで頑張りましょう。</li> </ul>

※ A：十分達成

B：概ね達成

C：検討の余地あり

D：不十分